

古今東西 くんとくんと 行きます!



郡市長がさまざまな現場を訪問し
市民の皆さまの活動の様子な
どをお伝えします

**新型コロナウイルスの感染状況や
予防策などについて、仙台市感染制
御地域支援チームの委員長である賀
来満夫教授にお話を伺いました。
(令和2年8月7日取材)**

—本市では7月以降、感染者が再び
増えてきました。現在の状況や市の対
応について、どのようにご覧になっ
ていらつしゃいますか。

賀来教授 全国で感染者が増し、そ
の波を受け、仙台市においても感染者
が増えている状況にあると思います。
高齢者施設等でクラスターが発生して
いますが、保健所では積極的に感染者
の接触者調査を行
っており、濃厚接
触者の絞り込みが
できていますので、
爆発的に感染が広
がっている状況で
はありません。感
染制御地域支援チ



か賀来 満夫氏
東北医科大学医学部感染制御学
科教授。仙台市感染制御委員
長。東北医科大学薬学教室特任
教授。仙台市感染制御委員
長。東北医科大学薬学教室特任
教授。仙台市感染制御委員
長。東北医科大学薬学教室特任
教授。仙台市感染制御委員
長。

—市内で患者が確認された場合には、
市民の皆さまにさまざまな情報提供を
しています。公表の範囲については、感
染予防の観点や患者さんのプライバシー
—など、さまざまな視点があるかと思
います。どのように考えていくべき
でしょうか。

賀来教授 情報をどこまで公表するか
というのは、感染制御・感染症対策の
中で非常に難しい課題です。市民の方
にできるだけ安心していただけるよう
バランスを取りながらケースに応じて
対応していく必要があると思います。

—人の往来が活発になる中で、感染
しない・させないために気を付けるこ
とについて教えてください。

賀来教授 このウイルスは、街ですれ
違っただけでは感染しません。感染を
起こしやすい場所があるのです。密
閉・密集・密接のいわゆる「3密」の
空間をいかに防げるかが大切です。加
えて、小まめな手洗いや会話をすると

きのマスクの着
用、換気、よく
触れる場所の消
毒。この4つの
基本的なポイン
トを守ることで、
爆発的に感染が
広がることは避
けられると思っ
ます。ぜひ市民の方々にもご理解いた
だき、市全体で感染を防ぐという意識
で、この夏を乗り切って欲しいです。



さまざまな役割や取材を引き受けら
れ、感染拡大防止に日々奔走されてい
る賀来教授。大変お忙しい中、ソフト
な語り口で分かりやすく私たちに教え
てください。感謝の気持ちでいっぱい
です。賀来教授がおっしゃるように、
このウイルスの特徴を理解し、正しく
恐れ、そしてしっかりと感染予防のた
めの行動を取ることが大事だと改めて
感じました。本市としても感染制御地
域支援チームの皆さんの助言や指導を
いただきながら、感染拡大防止に全力
を尽くしてまいります。

—ご自身の感染を防ぐ、周りの大切な
人を感染させないための意識を持って
行動することが大切です。この難局を
乗り越えるため、市民の皆さまのご理
解・ご協力をお願いいたします。

インタビュー全体を収録した動画を、市ホー
ムページおよび市の公式YouTubeチャ
ンネル「せんだいTube」で公開してい
ます。こちらぜひご覧ください。